

## 群馬県農業の動向と今後の展望

群馬経済研究所 主任研究員 須藤一麻

### 調査のポイント

群馬県内の農業の動向を農林水産省「農林業センサス」等で把握し、群馬県農業の特徴・課題を分析し、今後の展望する。

### 要約

- 群馬県内で農業を営む経営体は2015年から2020年までの5年間で2割超減少しているが、法人化している経営体は増加している。
- 多数を占める小規模な経営体が減少している一方で、耕地面積10ha以上の経営体や農産物の販売金額が3000万円以上の経営体など、規模の大きい経営体は増加している。
- 群馬県の耕地は、畑の割合が高く野菜生産や畜産を主力とする経営体が多い。農業産出額では野菜の全国順位は6位、畜産は9位となっている。
- 県内でも農業の担い手は減少と高齢化が進んでいる。今後は就農人口を増やす努力とともに、他産業と同様に農業もDX（デジタルトランスフォーメーション）化などへの対応が重要となる。